

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年 3 月 24 日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	・集団行動が行えるよう、死角のない支援員の目が届く空間で国の基準内の広さを用意しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	・国の人員配置基準を満たしています。	・児童の不穏時の対応等で見守りが手薄にならないよう連携を密に行う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	・バリアフリー化に努めており、トイレ含む室内は車いすでの移動が可能です。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	・活動内容に合わせてレイアウトを変更したり清潔で心地よく過ごせる環境になるよう努めています。	・更衣室兼倉庫の整理整頓もまめに行なっていきたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	2	・個別の部屋として更衣室兼倉庫を提供しているが足りない為、小さなテントを用意し、一人の時間を過ごしたい希望に応じています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	2	・活動前後でミーティングを行っています。今後はPDCAサイクルを意識して取り組み記録に残したい。	・様式を作成し取り組んでいるが十分に活用できていない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	・保護者向け評価表を活用し、保護者の方の意向の把握に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・常に情報共有、意見交換を行い日々の支援に反映できるよう努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4	・法人内では行われているが時間の調整が厳しく取り組めていない。	・今後第三者委員会へ依頼を行い外部評価をお行えるよう努めます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・外部の研修に参加したり、事業所内研修を行っております。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1	・現在作成は完了し公表の準備を進めています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	・見学や体験時の行動観察を記録に残し、保護者面談にてニーズを聞き取る等、また、相談支援員からの計画案を基にして支援計画書を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・年2回個別支援会議を設け検討している。また個々のケースに合わせ適宜会議を設けている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・都度振り返りを行い、計画書に沿った支援が行われているか確認している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	・事業所独自のアセスメントシートを作成している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	・本人支援では5領域を網羅した内容を意識つつ、家族支援、移行支援についてもご家族・本人に寄り添った支援内容の設定に努めています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	・複数の職員が様々な療育の視点から立案し活動を進めています。終了後は振り返りを行い児童の反応や内容の改善点等確認し記録に残します。また、児童の発達段階に合わせてプログラムの内容を変化させることで、スモールステップを作り出し、確実な達成に繋がるよう取り組んでいます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	・個別の課題、集団での育ちを踏まえて支援計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・活動の前でミーティングを行なっています。始まる前には児童の様子やプログラムの流れ、支援方法の確認を行い、終了後には支援の振り返りを行い記録しています。それらを改善したり、ステップアップに繋げます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1	・6か月に1度支援計画の見直しを行なっています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	3	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	4	0	・常に選択肢を与え自己決定できる機会を意識して作っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	・開催される際には児童発達支援管理責任者等の適任者が出席します。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	・必要に応じて情報の共有を行っていきます。	・医療機関との連携も強めていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	・保護者を通して情報を得ています。学校主催の連絡会議が開催される場合は参加させていただいている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	4	・必要に応じて情報の共有を行っていきます。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	・同法人内の福祉サービスへ移行する方に関しては情報共有がなされております。その他の方は必要に応じて情報提供を行ないます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	4	・今後必要があれば連携して支援に取り組みたい。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	・療育の時間が限られており、地域交流が難しい状況があります。児童の状態に応じて必要性があれば支援計画に位置付けた上で考慮していきます。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3	・要請があれば検討し参加しております。	・今年度は業務調整が厳しく、参加できなかった。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・お迎えの際や送迎時に情報共有できるよう努めております。必要時には電話やメールでの共有も行ないます。	・情報共有の中で共通理解できているか確認を行う。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	・保護者向けペアレント・トレーニングは行っておりませんが、情報共有する際に对方当事人などのアドバイスの機会を設けています。	・ペアレントトレーニングについて研修等で学んでいる状況になるが、保護者同士の交流の場を設ける等できる事から始めていく。
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	・契約時に重要事項説明書に則って説明をさせていただき、随時不明な点は職員が説明するようにしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	・必要に応じて対応しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	・年に2回保護者面談、or三者面談を行なっています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・必要に応じて対応しています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4	・今後開催に向けて検討していきます。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・苦情があった場合、苦情受付、解決担当に繋げ迅速かつ適切に対応できるよう努めております。また、社内で共有し再発防止につなげます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	・法人より「広報誌そてつだより」が年4回発行されています。ブログ内で活動内容の報告を行なっております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・書類はすべて鍵付きのキャビネットに保管しております。事務所からの持ち出し禁止で管理しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・理解しやすい伝達方法を工夫したり、伝わる方法を児童や保護者に合わせるようにしています。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	0	・地域の行事に積極的に参加・協力し事業所の周知と理解を得られるよう取り組んでいます。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	・事業所マニュアルはありますが、保護者通知用については用意が無く、今後周知の仕方について検討していきます。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	・策定は完了。火災避難訓練や津波災害を想定した地震避難訓練等を行い、備蓄品を確保しつつ、地域との連携を旨し災害に強い事業所づくりに取り組んでいます。	・委員会の中で適宜見直しを行い備蓄品の確保に努める。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	1	・必要に応じて対応しています。	・災害時、親元を一時的に離れるような場面を見据え状況確認を行なっていく必要がある。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	・必要に応じて対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	・必要に応じて対応しています。	・事業所マニュアルの作成
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	・必要に応じて対応しています。	・保護者向けのマニュアル作成
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・危険な事例があった際、ミーティングの中で情報の共有を行い記録を残している。	・事例記録表を作成し、継続していけるよう取り組む。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・外部の研修に参加したり、事業所内研修を行っております。内部研修を行っております。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	・現在対象児童はおりません。対象者がいる場合は組織的に決定し支援計画書に記載する体制があります。		